

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 4月 1日

事業所名

放課後等デイサービス C.win2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	希望する活動によって部屋が選べる	指導訓練室などのスペースは適切に確保しており、勉強スペース・休憩スペース等活動に応じたスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		適切な人員配置を行っております
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		児童が階段を使う場合はしっかりと支援員が同行していくよう共有していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	週一回定例会議を行っている	今まで週1で会議を実施していましたが今後はもう少し回数を増やし、職員全員で振り返りをしていこうと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	50%	保護者の意向等はよくきいている	アンケート調査の結果は毎回職員に共有しており、業務改善に繋げております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	50%	これからです	今年度が初めてのアンケート集計ですので、今回の結果をしっかりと公開させていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%		第三者委員会の設置には至っておりませんが、関係機関や有識者からの評価を基に今後のサービスの向上を図りたいと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・毎週研修を行っている ・インターネット等で専門家のレポートなどを資料としてやっている	毎週研修を行い、多様な内容で実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別の支援計画は6か月ごとに作成している	個別支援計画書については、モニタリングを行い、目標の達成度や課題を保護者様と共有して作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%		現在使用していますが一部の職員に共有ができていないようなので会議などで共有していこうと思います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		毎週の会議にて活動プログラムを全員で考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・子どものその日の状況に応じていろんな活動ができるようにしている ・書籍などを活用してプログラムを実施している	児童の状況に応じたプログラムを立案しているとともに、外部の資料などをを用いプログラムを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	休日の場合、午前午後のプログラムを考えながら行っている	課題を細かく設定しているのですが、職員間で共有できていないところもあるので今後共有をしていこうと思います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	子どもによっては集団活動よりも個別の活動を優先している	これからも個々の特性を十分に考慮し、個別支援計画と集団活動を組み合わせ、プログラムしていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	管理者が計画案をつくり、それを共通理解しながら職員全員で運営している	情報を共有し、役割を分担していこうと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	随時行っている	毎日支援の終了後にミーティングを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個人ごとに活動記録はとっている。気づきは職員で共有している	記録の取り方について指導も行い、全職員が記録を取ることを徹底していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	相談支援員さんを招いて保護者とともに話し合いをしている	継続して取り組みます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%		ガイドラインは研修などで共有していますが、まだまだ共有できていない部分があるので引き続き研修などでガイドラインを取り上げていこうと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		日々子供たちに接している職員が参加していないことで支援の質の低下、職員全員に情報共有が困難にならないように、会議に参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	管理者等が学校と時々連絡を取り合い子どもの共通理解をしている	送迎の際に日々の状況、学習の進展等聞き取り、担当者会議時に支援内容の共有をしています。些細なことが重要事項につながることもありますので伝達漏れがないように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%	今のところはない	現在、医療的ケア児の受け入れはございませんが、必要性がある場合には、関係機関に繋ぎ、積極的に連絡体制づくりに努めます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	複数の放デイを利用している子どもについて互いに共通理解をしている	モニタリングで情報交換をして相互理解に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	今のところ、事例はありません	スムーズに移行できるように、状況の提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	・ズームで研修を行っている ・別府発達支援センターとの連携はないが子どもが利用しているとの報告はある	部会などを通じ助言を頂いております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	40%	60%	別府鶴見C.winとの交流はある	コロナの状況を見ながら季節の行事やイベントなどと合わせて行っていると思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	40%	60%		昨年度はコロナの中で実施がなかったので、今年度は実施があれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	夕方子どもを家庭に送った際に子どもの様子や出来事などについてお話し、共通理解を進めている	毎日送迎の際などに保護者と意見交換をして共通理解を持つことに努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%		保護者の悩みを聞き助言を行い支援をしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用開始時に丁寧な説明をしている	書面を作り送迎の際に丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者からの依頼があった場合や必要がある場合に助言等を行っている	事業所で取り組んでいる支援を保護者に伝えてご自宅でもできる支援を伝えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%		コロナの状況を見ながら懇談会や個別で話し合いができる場を作っていると思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設置している	ご家庭のニーズなどを職員で共有し適切に対応できる体制を整えています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	定期的には出していないが必要に応じて「お知らせ」などをプリントで配布している	「お知らせ」などのプリントにて適宜お知らせを行っている。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		最大限の注意を払って取り扱っております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	20%		昨年度はコロナの影響で実施は見送ってりましたが、今年度は状況を見ながら実施していけるよう努めます。
非常時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	コロナに対応するため手洗い、消毒、空気清浄機など備え、感染防止に努めている	しっかりと保護者に周知していただけるように努めておりますが、お便りなどを作成しより一層の周知に努めて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	8月に火災避難訓練を行った	昨年度は8月に実施いたしました。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	常日頃から子どもたちの対応について声を掛け合っている	研修は適切に実施しておりますが、虐待についてはこれから研修の機会を増やしていこうと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	今のところ、身体拘束などの機会はないが、子どもが疲れている時には休憩室を使って心身を落ち着かせるようにしている	現在、身体拘束の必要のある方のご利用がありませんが、慎重に対応していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	食事やおやつを出す場合、あらかじめ子どもに好き嫌いなどを聞いて対応している	現在、医師の指示書に基づく適切な対応が必要な方のご利用はありませんが、慎重に対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	危険な事例(包丁で指を切ったなど)があった場合には、事実を共有し支援の仕方を改めるなどの共通理解を絶えず行っている	事例集は作成してあるのでミーティングなどで共有していこうと思います。